

# 第72回 福島県身体障がい者福祉大会受賞者名簿

(敬称略)

## ◆自立更生者表彰 (8名)

二本松市	野地初弘	古殿町	緑川ヨシ子
二本松市	鹿野ヒサ	棚倉町	富岡幸子
本宮市	渡邊輝子	新地町	阿部光晴
田村市	菅野昭二	相馬市	森 さく子

## ◆更生援護功労者表彰 (7名)

桑折町	澁谷久男	磐梯町	深谷美重子
二本松市	高野弘一郎	喜多方市	原 満
本宮市	増子幸子	飯舘村	佐藤一行
浅川町	小川初枝		

## ◆加盟団体運営協力者感謝 (3名)

古殿町	水野昭
塙町	小野市男
北塩原村	江川アヤ子

# 大会スローガン

- ◎ 心のバリアフリーを地域社会に根づかせよう
- ◎ 改正障害者差別解消法及び県条例の理解啓発の促進を図ろう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう

## ノーマライゼーションの理念

障がいを持つ人も持たない人も、高齢者も若者も、誰もが等しく家庭や住み慣れた地域で、お互いに人間として尊重しあいながら、普通の生活ができるようにしていくという考え方。

# 大会宣言

福島県のほぼ中央に位置し、いにしえより交通の要衝として栄えるここ、本宮市において、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第72回福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体及び本宮市をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

平成18年に障害者権利条約が国連で採択されて以降、我が国では、障害者基本法の改正、障害者総合支援法及び障害者差別解消法の成立など国内の法整備が進められ、さらに、本年4月からは改正障害者差別解消法の施行にともない事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されるなど、障がい及び障がいのある者に対する理解が深まってきているところであり、障がい理解の一層の促進に向け、心をひとつに活動していかねばならない。

また、障害者差別解消法の改正を受けて、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」についても本年4月に一部改正がなされ、県民理解のもと、差別解消に向けた取り組みが一層推進されるとともに、県内各市町村の実情に即した「障がい者差別禁止条例」の制定を求める。

さらに、東日本大震災により長期避難生活を送られている県内外の障がい者への支援活動を引き続き展開していくとともに、災害時における被災障がい者支援の充実を求める。

このような状況にあっても、県内の障がい者一人ひとりが、「私たちのことを私たち抜きに決めないで」とする障害者権利条約の精神にのっとり、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、障がいによって分け隔てられることなく、誰もが安心安全に暮らせる地域共生社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

令和6年10月22日

第72回福島県身体障がい者福祉大会

# 大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災障がい者の支援に万全を期するため、第72回福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

## 要望事項

- 1 障がい理解の活動を広げ地域共生社会の実現に取り組むことを要望する。
- 2 障がい当事者参画のもと、障がい関係施策の促進を図ることを要望する。
- 3 障がい者差別をなくすための条例を県内各市町村で制定することを要望する。
- 4 改正障害者差別解消法の理解啓発の促進を図ることを要望する。
- 5 被災加盟団体の再建への支援並びに災害時における被災障がい者支援の充実を図ることを要望する。

## 努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、持てる能力を十分活用し、地域共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

令和6年10月22日

第72回福島県身体障がい者福祉大会